

## 「2008年度・2009年度 事業報告」

### 1. 2008年度・2009年度事業報告について

早稲田大学男女共同参画推進委員会は、本学の創立125周年を記念する2007年10月21日に設置され、また同時に「男女共同参画宣言」を發表し、広く学内外に周知した。

この宣言に掲げられた4つの目標は次のとおりである。

- ①教育・研究・就労の場における男女共同参画を実現するための、教職員・学生等の人的構成の男女格差を是正し、大学運営の意思決定における男女共同参画を実現する。
- ②教職員・学生等が、出産・育児・介護と教育・研究・就労を両立させることができるための効果的で具体的な措置を講じる。
- ③男女共同参画社会における学問・研究が、多様な生の共存に貢献するものであることを自覚しつつ、今後とも、新たな社会の創造に向けた知の結集・人材の育成を目指す。
- ④この目的のために、早稲田大学は、男女共同参画推進室を設置し、長期的な展望にたった「男女共同参画基本計画」を策定し、実施する。

この4つの目標を実現するために、当委員会に設置された幹事会ならびに3部会（「教育研修部会」、「制度環境部会」、「広報調査部会」）において、半年あまりの議論・検討を踏まえたうえで、2008年度から2017年度までの中長期計画である「男女共同参画基本計画」、ならびに「2008年度・2009年度事業計画」を策定し、2008年12月に発表した。また、同時にサポートセンター機能強化の観点から、2008年12月に「サポートセンター部会」を設置した。

2008年度から2009年度にかけて事業計画を推進する中、第1期の男女共同参画推進委員会は、2009年10月21日にその理念と課題を第2期男女共同参画推進委員会に引き継いだ。

### 2. 2008年度・2009年度の具体的事業報告

#### 1) 女性専任教員比率の向上

- ① 学術院等、各箇所ごとに女性専任教員比率の数値目標が設定されることを、基本計画の中での最重要課題と位置づけ、各学術院や人事採用権を持つ箇所における男女共同参画社会の実現に向けた取り組みに関して、以下のとおり懇談を実施した。その結果、各箇所の状況を把握し、今後、学術院等ごとに具体的な数値目標や施策を提言するための基礎情報を収集することができた。

#### ○学術院との懇談

懇談実施日	箇所名(実施順)	箇所側出席者	委員会側出席者
2009/06/11	商学学術院	恩蔵学術院長他7名	浅倉委員長他3名

2009/06/16	文学学術院	大日方学術院長他 8 名	浅倉委員長他 3 名
2009/06/19	人間科学学術院	斎藤学術院長他 3 名	浅倉委員長他 4 名
2009/06/23	理工学術院	橋本学術院長他 5 名	浅倉委員長他 4 名
2009/07/02	社会科学総合学術院	多賀学術院長他 3 名	浅倉委員長他 3 名
2009/07/06	スポーツ科学学術院	村岡学術院長他 4 名	浅倉委員長他 3 名
2009/07/06	国際学術院	スノートン学術院長他 6 名	浅倉委員長他 3 名
2010/01/09	教育・総合科学学術院	宮口学術院長他 5 名	川田委員長他 3 名
2010/01/20	大学院ファインズ研究科	首藤研究科長他 3 名	川田委員長他 3 名
2010/01/25	政治経済学術院	飯島学術院長他 3 名	川田委員長他 3 名
2010/02/19	法学学術院	上村学術院長他 5 名	川田委員長他 3 名

## 2) 女性専任職員および女性管理職比率の向上

- ① 職員管理職者を対象に、男女共同参画の理解のみならず、女性専任職員をどのように育てていくのか、という問題意識を喚起するための研修実施に向けて、2008年7月に実施した教職員全数調査の報告書をもとに、研修資料の作成に着手したが、管理職研修の実施には至らなかった。
- ② 女性管理職比率が低迷する理由について、本人の能力以外に阻害する因子（辞退、家事・育児・看護等）は何なのかを探るため、以下のとおり職員担当常任理事および人事部との懇談を行い、特に女性職員を取り巻く状況についての情報を収集した。なお、女性職員へのアンケート調査は実施しなかった。

### ○人事部との懇談

懇談実施日	箇所名	箇所側出席者	委員会側出席者
2008/12/07	人事部	田内常任理事、迫田人事部長他 4 名	浅倉委員長他 5 名

## 3) 男女共同参画推進に対する教職員の意識向上

- ① 以下のとおり、新規採用の教職員研修に男女共同参画の講義を盛り込み、本学の「男女共同参画基本計画」を周知するとともに、男女共同参画推進への理解を深め、意識の共通化を図った。

### ○新入教職員への研修

研修実施日	研修名	場所	対象者	講師
2008/10/10	新入職員研修	早稲田キャンパス 201-51 号館	9 名	大榎副委員長
2009/04/03	新任教員セミナー	早稲田キャンパス 8 号館	113 名	浅倉委員長
2009/04/15	新入職員研修	早稲田キャンパス 201-51 号館	32 名	大榎副委員長
2009/10/07	新入職員研修	早稲田キャンパス 201-51 号館	9 名	大榎副委員長

- ② 一般・教職員・学生向けのシンポジウム、啓発セミナー、講演会等を以下のとおり開催して、多くの本学構成員に、本学の「男女共同参画基本計画」を周知し、理解を求める機会を提供した。また、開催報告をホームページに掲出する他、ニュースレターにも内容の紹介を掲載し、参加できなかった者への周知も図った。

○シンポジウム・講演会等の開催

【2008年度】

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2008/06/12	シンポジウム	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる今日の状況」	教職員・学生・一般	200名	後援
2008/07/05	講演会	第2回育児講演会「子育てはあたたかく やわらかく ゆったりと」	教職員・学生・一般	34名	後援
2008/09/25	シンポジウム	キャリア初期研究者両立サポートセンター開所記念シンポジウム「これからのキャリア初期研究者支援-早稲田の取り組み-」	教職員・学生・一般	60名	主催
2008/10/29	映画上映会・講演会	第11回ホール早稲田文化週間 男女共同参画推進室開室一周年記念トキョムタリ-映画「心理学者 原口鶴子の青春」上映会・泉監督講演会	教職員・学生・一般	79名	主催
2008/11/01	シンポジウム	7私立大学合同シンポジウム「男女共同参画の輪を拓けよう」	教職員・学生・一般	150名	共催
2008/11/15	シンポジウム	第8回公開シンポジウム「変容する「恋愛」意識」	教職員・学生・一般	90名	共催
2008/12/12	シンポジウム	ワーク・ライフ・バランス実現に向けた社会基盤構築「新しい研究者・技術者像とは」	教職員・学生・一般	200名	主催
2008/12/20	講演会	「若手研究者のための英語論文作成講座」	キャリア初期研究者	70名	共催
2009/01/17	ワークショップ	「若手研究者のための英語論文作成講座」	キャリア初期研究者	20名	共催
2009/02/02	ワークショップ	「若手研究者のための英語論文作成講座」	キャリア初期研究者	20名	共催
2009/02/10	報告会	「専任教職員の男女共同参画推進に関する意識・実態調査」報告会	教職員	17名	主催
2009/03/02	講演会	日本学術会議公開講演会「学術分野における男女共同参画促進のために」	教職員・学生・一般	95名	共催
主催4回・共催6回・後援2回 計12回			計	1,035名	

【2009年度】

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2009/06/20	シンポジウム	稲門女性ネットワークによる現役女	女子学生	86	協賛

		子学生のためのキャリア支援「第5回未来の自分を発見しよう」			
2009/07/04	育児講演会	第3回育児講演会「マイトフルな育児で子育てを楽しむ」	教職員・学生・一般	34	主催
2009/07/10	各国文化紹介企画	北欧フェスタ「ノルウェーの男女平等-家庭と仕事の両立-」	教職員・学生・一般	40	共催
2009/10/19	講演会・写真展	第12回ホール早稲田文化週間「彼女」は彼女たちから始まった-女性への大学教育の解放：早稲田大学の場合-	教職員・学生・一般	87	主催
2009/11/14	シンポジウム	第9回公開シンポジウム「<産む/子を持つ>をめぐるジェンダーの磁場」	教職員・学生・一般	90	後援
2009/11/27	講演会	STOPハラスメント講演会「研究環境から考えるアカデミック・ハラスメント」	教職員・学生・一般	440	主催
2009/12/04	シンポジウム	文理融合シンポジウム「理系」が未来を変える！	教職員・学生・一般	124	後援
2009/12/04	シンポジウム	第2回私立大学合同シンポジウム「男女参画の輪をさらに広げよう」	教職員・学生・一般	200	共催
2010/01/14	フォーラムシアター	参加型演劇フォーラムシアター 2009「これってハラスメント？」	教職員・学生・一般	50	共催
主催3回・共催3回・協賛1回・後援2回 計9回			計	1,151名	

#### 4) ライフイベントサポートシステムの改善と拡充

① 2008年5月26日、早稲田キャンパスに相談室兼搾乳室の機能を備えた事務所（10号館213室）を設置した。また、同年9月25日に全ての教職員・学生、特にキャリア初期研究者のキャリア形成支援、教育・研究、学習とライフイベントの両立支援、およびそれに係る情報提供・相談業務・交流事業の基点とすべく、西早稲田キャンパス（旧：大久保キャンパス）に下記機能を備えた「キャリア初期研究者両立サポートセンター」（60号館214・216室）を設置した。なお、2008年度末をもって文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業の採択期間終了を契機に、「キャリア初期研究者両立サポートセンター」は、広く教職員・学生を対象としていることを示すべく、名称を「ワークライフバランス・サポートセンター」（以下「サポートセンター」と略）に変更した。

サポートセンター施設・設備：

- ・床面積 89.60 m<sup>2</sup>（防音タイルカーペット敷き）
- ・交流エリア（8折机・20脚）、可動式置畳エリア 10畳（座卓2・座イス6・幼児用イス2・幼児用簡易ベッド3）コーナーサークル・ブロック遊具・可動式絵本棚）、事務デスク 4机、相談室（専用PC有）、授乳室兼搾乳室（オムツ替えベッド、ソファベッド）
- ・図書資料等（2008・2009年度：図書 455冊・DVD 23本を収集）

また、設置後のサポートセンターにおいては、広報活動の充実を図り、2008年度末までは総合研究機構の女性研究者支援総合研究所との共同運営として、相談事業・交流事業を

推進した。相談事業では、特にキャリア初期研究者が研究者が、研究者として自立するためのキャリア支援および出産、看護等のライフイベントの両立支援を実施した。また、交流事業では、子育て交流会等を開催し、女性研究者同士の交流の場を充実させた。

○交流事業

【2008年度】

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2008/05/09	交流会	「研究者”子育て”交流会」	キャリア初期研究者	6名	主催
2008/11/27	ランチオン・ミーティング	「育児について語ろう！教職員のためのランチオン・ミーティング」	教職員	10名	主催
2009/01/22	ランチオン・ミーティング	「育児について語ろう！非常勤講師のためのランチオン・ミーティング」	非常勤講師	7名	主催
2009/03/05	ランチオン・ミーティング	「ホスト&ドクター交流のための昼食会 in 大久保キャンパス」	キャリア初期研究者	6名	主催
主催4回			計	29名	

【2009年度】

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2009/05/15	ランチオン・ミーティング	「キャリア初期研究者のためのつながり昼食会～研究者のキャリアを考える～」	キャリア初期研究者	6名	主催
2009/07/05	テーマタイム・セミナー	キャリア初期研究者のための「ファイナンシャル・ランニング講座」	キャリア初期研究者	14名	主催
2009/09/04	研修会	「競争的資金獲得のための書類作成およびプレゼンテーションの指導」	キャリア初期研究者	18名	主催
2009/10/12 ～10/16	DVD視聴会	第1週目「競争的資金獲得のための書対作成およびプレゼンテーションの指導」	キャリア初期研究者	2名	主催
2009/10/26 ～10/30	DVD視聴会	第2週目 キャリア初期研究者のための「ファイナンシャル・ランニング講座」	キャリア初期研究者	2名	主催
2009/11/12	ランチオン・ミーティング	「キャリア初期研究者のためのつながり昼食会 in 所沢キャンパス」	キャリア初期研究者	6名	主催
2009/12/02	ランチオン・ミーティング	理系女子学生のための「キャリア・ランニング講座」	学生	7名	主催
2010/01/20	トライライト・セミナー	キャリア初期研究者のための「ゼロからわかる！確定申告講座」	キャリア初期研究者	15名	主催
2010/01/28 ～02/10	DVD視聴会	キャリア初期研究者のための「ゼロからわかる！確定申告講座」	キャリア初期研究者	7名	主催
2010/3/18	ランチオン・ミーティング	「キャリア初期研究者のためのつながり昼食会 in 戸山キャンパス」	キャリア初期研究者	11名	主催
主催10回			計	88名	

○施設利用者

【2008年度】※2008年9月より統計

施設名	a. 開室日数	b. 利用者数	b./a. 日平均	b.内訳 男性	女性	子供
早稲田キャンパス10-213 事務所・相談室	102日	339名	3.3名	20名	319名	0名
西早稲田キャンパス60-214・216 ワークライフバランス・サポートセンター	117日	332名	2.8名	168名	161名	3名

【2009年度】

施設名	a. 開室日数	b. 利用者数	b./a. 日平均	b.内訳 男性	女性	子供
早稲田キャンパス10-213 事務所・相談室	180.5日	227名	1.3名	86名	141名	0名
西早稲田キャンパス60-214・216 ワークライフバランス・サポートセンター	200.5日	671名	3.3名	333名	332名	6名

○相談事業

【2008年度】※2008年10月より統計

相談件数	(1) 男性	女性	(2) 教員	職員	学生	その他	(3) 進路	ライフスタイル	心理	ハラスメント	就活	その他
24	2	22	0	0	24	0	4	4	0	0	13	3

内訳：(1)性別、(2)属性別、(3)相談内容別

【2009年度】

相談件数	(1) 男性	女性	(2) 教員	職員	学生	その他	(3) 進路	ライフスタイル	心理	ハラスメント	就活	その他
74	20	54	11	4	57	2	14	19	2	0	29	10

内訳：(1)性別、(2)属性別、(3)相談内容別

- ② 2008年9月より2009年3月まで、サポートセンター事業を遂行するため、女性研究者支援総合研究所の協力のもと、事業を担う支援者（相談員）の養成を目的として、集合研修や学内関連講義の履修研修を、以下のとおり実施した。なお、学内調整を担うコーディネーター、事業に関し助言を行うアドバイザーの配置・整備については、検討を開催した。

○集合研修

開催日	内容
2008/09/12	女性研究者支援総合研究所執行部会議への出席
2008/09/25	キャリア初期研究者両立サポートセンター開所式・記念シンポジウムへの参加
2008/10/03	保育所見学および相談事例の対応について
2008/10/10	本学の男女共同参画への取り組み、サポートセンターの今後の活動・体制について

## 学内関連講義の履修研修

対象科目：「女性しごとライフデザイン（科学技術分野編）」  
「ウーマン・キャリアクリエイト講座」

- ③ 出産・育児・看護等（ライフイベント）を支援するシステムを充実させるために、すでに学内にあるライフイベントサポート諸制度（大学の福利厚生事業、健康保険組合の保健事業「Welbox」による業務委託分）の確認を行い、リーフレットやニュースレター、ホームページにおいて適宜周知を行った。

また、現行制度に何が不足し、新たにどのような制度を導入することが必要なのかを検討するため、2009年3月に女性研究者支援総合研究所が作成した『交流会・調査結果から明らかになったニーズ・提言と実施状況』を項目ごとに担当部会に振り分け、各部会に検討を付託した。

## 5) キャリア初期研究者への支援

- ① 2009年度は、これまでの交流会・相談から得られたキャリア初期研究者からの声をまとめた、女性研究者支援総合研究所作成『交流会・調査結果から明らかになったニーズ・提言と実施状況』をもとに、キャリア初期研究者の採用時における「年齢制限の原則」、雇用条件・労働環境、教育・研究環境などについて確認を行った。なお、助手の採用に関する申し合わせ（年齢制限）については、2009年7月の学術院長会において、撤廃となった。
- ② 研究中断者の実験・研究補助員採用のための方策についても、『交流会・調査結果から明らかになったニーズ・提言と実施状況』をもとに検討を始めることとなった。

## 6) 女子学生の就職・進学支援

- ① 2008年度・2009年度は、オープン教育センターに設置されている男女共同参画への導入講座、「女性・しごと・ライフデザイン」、「女性・しごと・ライフデザイン（科学技術分野）」、および「ウーマン・キャリアクリエイト」を継続して開講した。ただし、「女性・しごと・ライフデザイン（科学技術分野）」は、2009年度、理工学術院設置の「科学とジェンダー」に、その内容を盛り込み、科目としては解消した。

### ○関連科目の開講・登録者数

科目名	学期	2008年度	2009年度
女性・しごと・ライフデザイン	前期	110名	205名
女性・しごと・ライフデザイン（科学技術分野）	後期	27名	—
ウーマン・キャリアクリエイト講座	後期	199名	239名
科学とジェンダー	前期集中	66名	73名

- ② 2009年6月に、女子学生の進学・就職支援のため、稲門女性ネットワーク（TWN）・

キャリアセンターと連携して、女子学生を対象としたセミナー「第5回自分の未来を発見しよう～分野別・OGとのフリーディスカッション～」を開催した（p4. 参照）。

## 7) 人権・ジェンダー・労働に関わる教育・研究の推進

- ① 2008年度は、理工学術院に学部学生・大学院学生を対象とした講義科目「科学とジェンダー」を新設し、2009年度も継続して開講した。

また、現在開講されている関連科目のデータベース化、補完・強化すべき分野の検討を始め、2009年度開講科目の男女共同参画に関連するキーワードによる抽出作業に着手した。

- ② 2008年度は、2009年度オープン教育センター新設科目の、学部新生を対象としたオンデマンド授業「早稲田大学基礎講義」に盛り込む、男女共同参画部分のコンテンツ作成を行った。

また、2009年度は、「早稲田大学基礎講義」の改定版として2010年度から設置され、全学生が視聴できる「わせだライフABC」に盛り込む、男女共同参画部分のコンテンツ作成を行った。

なお、学内関連箇所と連携して推進室独自のオンデマンド・コンテンツを作成する計画については、2010年度以降の検討課題とした。

### ○オンデマンド・コンテンツの作成・登録者数

科目名／テーマ名／講師	2009年度
早稲田大学基礎講義／男女共同参画とは何かを考えてみよう／浅倉前委員長	146名
わせだライフABC／男女共同参画とは何かを考えてみよう／川田委員長	※2010年度開講

- ③ 男女共同参画を推進する上で必要な研究を推進するために、学内研究者のネットワークを形成する必要があることから、2009年度開講科目の男女共同参画に関連するキーワードによる抽出作業に着手した。

## 8) 国内外の大学および研究機関との交流

- ① オールワセダ文化週間の企画として、2008年度は映画上映会と講演会、2009年度は写真展と講演会を開催し、本学の学生・教職員の男女共同参画についての理解を深めるとともに、外部にも公開して本学の取り組みを紹介した。

また、学内他箇所が主催する男女共同参画に関連するイベントについては、共催・協賛箇所として支援した（p3.4 参照）。

- ② 委員会委員・部会委員・事務局スタッフは、学外のワークショップ・シンポジウム・講演会等の講師を務めるほか、積極的に参加をし、情報収集・意見交換を行った。

### ○参加講演会・シンポジウム等

【2008年度】



開催日	主催者	演題等	参加形態
2008/05/16	広島大学	第2回広島大学男女共同参画シンポジウム～一人ひとりが輝く大学を目指して	パネリスト
2008/06/26	内閣府	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議	一般参加
2008/11/01	7 私立大学	合同シンポジウム「男女共同参画の輪を拓けよう」	講演者、一般参加
2008/12/01 ～02	東京大学他	女性研究者支援モデル育成事業合同シンポジウム「効果的な女性研究者支援システムを考える」	講演者
2008/12/12	内閣府他	男女の仕事と生活の調和推進事業公開シンポジウム「ワーク・ライフ・バランス実現に向けた社会基盤構築：新しい研究者・技術者像とは」	講演者、一般参加
2009/02/06	慶応義塾大学	シンポジウム「慶応義塾における女性研究者支援と男女共同参画一次なる150年に不可欠な人材の活用」	一般参加
2009/03/02	日本学術会議	公開講演会「学術分野における男女共同参画促進のために」	講演者、一般参加

#### 【2009年度】

開催日	主催者	演題等	参加形態
2009/06/26	内閣府	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議	一般参加
2009/05/28	慶応義塾大学	シンポジウム「女性研究者支援－他大学の取り組みに学ぶ」	報告者、パネリスト
2009/10/04	国立女性教育会館	女性のライフプランニングに資する学習支援事業「女性のキャリア形成支援の仕組みづくり～大学と女性関連施設との連携について～」	報告者
2009/12/04	10 私立大学	合同シンポジウム「男女共同参画の輪をさらに拓けよう」	講演者、報告者、一般参加
2010/02/20	静岡大学	講演会「女性研究者と家族が輝くモデル支援プロジェクト」	講演者
2010/02/21	かながわ女性会議主催	講演会「本当の意味のワーク・ライフ・バランスとは何か」	講演者

- ③ 他大学との交流にも重点を置き、2008年11月と2009年12月には、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択された私立大学と合同でシンポジウムを開催した。

また、学外他機関からの見学者・来訪者を広く受け入れ、情報提供・意見交換を行った。

見学者・来訪者：

2008年度3件（東京学芸大学、大阪大学、弘前大学）

2009年度8件（東京工業大学、東京医科歯科大学、産業技術総合研究所、津田塾大学、日本女子大学、琉球大学、労働政策研究・研修機構、滋賀県立大学）

#### 9) 長期的な展望にたつ男女共同参画の推進

- ① 2008年5月、本学の中長期計画となる「Waseda Next 125」中に、「女性教員の比率を3割に近づけることをめざす」ことが盛り込まれた。

また、同年12月、1年余りに渡る検討期間を経て、本学の男女共同参画の中長期計画となる「男女共同参画本基本計画」を策定し発表した。

② 2009年12月、10私立大学で合同開催したシンポジウムにおいて、参加大学学長による男女共同参画アピールとして「10私立大学 男女共同参画推進のための共同宣言」を発表した。

③ 2008年5月の「推進室事務所」設置、9月の「サポートセンター」設置など、本学の男女共同参画を推進するための事務局体制・相談員の充実を図った。

2008年4月：スタッフ数：1名（内訳：管理職1）

2008年6月：スタッフ数：2名（内訳：管理職1、専任職員1）

2008年9月：スタッフ数：5名（内訳：管理職1、専任職員1、派遣1、相談員2）

2008年12月：スタッフ数：6名（内訳：管理職1、専任職員2、派遣1、相談員2）

2010年3月に至る。

#### 10) 男女共同参画に必要な各種調査の実施

① 2008年7月、女性研究者支援総合研究所の協力のもと、男女共同参画推進にむけた現状把握ならびに教育研修を目的に、専任教職員を対象とする全数調査を実施した。また、調査の結果は、『研究者養成のための男女平等プランに関する調査（5）男女共同参画推進に関する意識・実態調査 2008年度教職員調査報告書』として2008年10月に刊行し、2009年2月には本調査の報告会を行なった（p4. 参照）。

② 箇所調査については今後の方針を検討し、2007年度に「男女共同参画推進準備室」が実施したものを拡充して、2009年度以降隔年で夏に実施することとしていたが、前回調査の精査が十分にされていないこともあり、2010年度以降、学術院ヒアリングの終了後に実施をし、意識の変革を確認することとした。

③ 男女共同参画事業の推進にあたって、必要な情報を収集するための調査活動として、2008年12月に人事部との懇談を実施した（p2. 参照）。また、2009年6・7月、2010年1・2月にかけて各学術院との懇談を実施した（p2. 参照）。

#### 11) 男女共同参画の進捗状況の周知

① 本格的な広報活動の始めとして、2008年8月に、本学における男女共同参画推進の取り組み、現状や制度の概要等を紹介することを目的としたリーフレットを発行した。リーフレットは年1回程度の改訂をすることとし、2009年9月に第2版を発行した。また、リーフレットの改訂に合わせて、2009年9月にポスターを作成し、学内全ての箇所に掲出を依頼した。

○リーフレット

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
早稲田における男女共同参画(初版)	2008/08	18,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生
早稲田における男女共同参画(2版)	2009/09	20,000部	

○ポスター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
早稲田における男女共同参画	2009/09	200部	学内全個所

- ② 2009年3月、ニュースレターを創刊した。ニュースレターは1年に2回の発行とし、2009年9月に第2号を、2010年3月に第3号を発行した。なお、発行部数は毎回増加しているが、これは、当初学生については、大学院学生を中心に配布していたが、より多くの学部学生にも配布することを目指したことによる。

○ニュースレター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
さんかくニュースNo.1	2009/03	18,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生
さんかくニュースNo.2	2009/09	20,000部	
さんかくニュースNo.3	2010/03	25,000部	

- ③ ホームページによる情報発信の充実を図るため、男女共同参画推進に関連する学内外の情報を、ニュース・イベントとして速やかに掲出した。また、2010年4月からの英語版ホームページ開設にともなう準備作業を行った。なお、ホームページの閲覧状況を把握するため、2008年7月よりアクセス・カウンターを設置した。

ニュース・イベント掲出数：2008年度26件・2009年度44件

アクセス件数：2008年度6,091件(月平均約677件) ※2008年7月より記録

2009年度7,394件(月平均約616件)

- ④ 既存の学内広報物である『早稲田ウィークリー』、『CAMPUS NOW』、『早稲田学報』に適宜、記事・話題を提供した。
- ⑤ 2008年夏に、男女共同参画推進室のロゴマークの公募を行い、10月に開催した男女共同参画推進室1周年記念映画会・講演会において、ロゴマークの発表と作者の表彰を行った。

以上